

関西の80年代

Kansai Contemporary Art of the 1980s

6月18日(土)～8月21日(日)

観覧料 一般 1,500円、大学生 1,100円、高校生以下無料、70歳以上750円、障がいのある方(一般 350円、大学生 250円)

1980年代には、バブル経済とポストモダンの思潮を背景に、以前の禁欲的な現代美術の傾向から一転して、多彩な表現が開かれました。特に関西では、兵庫県立近代美術館のシリーズ展「アート・ナウ」などで若い作家が台頭し「関西ニューウェーブ」として注目を集めました。作り手それぞれのリアリティに根差した、今なお新鮮な作品群を紹介します。

関連イベント

- 京阪神ニューウェーブ鼎談 山部泰司氏+福田新之助氏+杉山知子氏(出品作家) 6月26日(日) 15:00～16:30(開場は30分前から) ミュージアムホール 120名、当日先着順、要観覧券、芸術の館友の会会員優先席あり
- 講演会「1980年代を語るのか?」 講師:島敦彦氏(国立国際美術館館長) 7月24日(日) 14:00～15:30(開場は30分前から) ミュージアムホール 120名、当日先着順、要観覧券、芸術の館友の会会員優先席あり



石原友明《約束Ⅱ》1984年 ギャラリー白での展示風景 現・高松市美術館および作家蔵

- テーマ・レクチャー
 - ①「アート・ナウと関西の80年代」 7月9日(土) 15:00～15:40(開場は30分前から) 講師:江上ゆか(当館学芸員) レクチャールーム、50名、当日先着順
 - ②「インスタレーションを展示する」 8月6日(土) 15:00～15:40(開場は30分前から) 講師:江上ゆか(当館学芸員) レクチャールーム、50名、当日先着順
- こどものイベント 詳細は当館Webサイトにてお知らせします。

7/12火▶7/18月・祝 (7日間)

プレミアム 芸術デー

期間中、特別展(関西の80年代)を無料で鑑賞いただけます。

※既に前売り券等をご購入の場合でも、払い戻しは致しませんのでご注意ください。

※上記期間中、コレクション展は休室いたします。

※共催展は別途入場料が必要です。

THE HEROES

ボストン美術館所蔵 THE HEROES Chronicles of the Warriors: Japanese Swords x Ukiyo-e from the Museum of Fine Arts, Boston

9月10日(土)～11月20日(日)

観覧料 一般 1,800円、大学生 1,400円、高校生以下無料、70歳以上900円、障がいのある方(一般 450円、大学生 350円)

世界最高水準の日本美術コレクションを誇るボストン美術館の所蔵品から、軍記物語や武勇伝説に見られる英雄たちの姿を描いた武者絵や刀剣の鏢、そして英雄たちの活躍を彩る重要な要素である刀剣を展示します。また、武者絵の世界をより分かりやすくご紹介するため、国内コレクションからも刀剣、浮世絵を特別出品します。



「太刀 銘 安綱」平安時代(11世紀) William Sturgis Bigelow Collection Photograph © Museum of Fine Arts, Boston

関連イベント

詳細は当館Webサイトにてお知らせします。

2022年コレクション展Ⅱ

《特集1》リ・フレッシュャーズ — 新収蔵品紹介展

《特集2》没後50年 吉原治良の小宇宙

7月30日(土)～12月18日(日)

前期:7月30日(土)～9月25日(日) 後期:10月8日(土)～12月18日(日) ※9月26日(月)～10月7日(金)閉室

昨年度は寄贈や遺贈により、これまでの当館のコレクションを補完し、さらに拡張するようたくさんのフレッシュな仲間(作品)たちがやってきました。特集1では、これらの新収蔵作品を一挙にご紹介します。特集2では、令和2年度に公益財団法人伊藤文化財団より寄贈された吉原治良の作品群を展示し、没後50年を迎える作家の創作の秘密に迫ります。

関連イベント

- 学芸員による解説会
 - 【特集1】9月24日(土)、10月29日(土)、11月26日(土) アトリエ1にて
 - 【特集2】8月27日(土)、12月3日(土) 各日15:00～(45分) レクチャールーム、定員50名、聴講無料、当日先着順



谷原菜摘子《創世記》2021年 令和3年度 大和卓司氏遺贈記念収蔵

- こどものイベント 詳細は当館Webサイトにてお知らせします。

《小企画》 美術の中のかたち Form in Art-Perceiving — 手で見る造形 — with the Hand 彫刻の中のかたち

7月30日(土)～9月25日(日)

1989年に始まった触覚で作品を楽しむことができる当館の恒例企画。今回は、当館のコレクション作品を手で触れて「見て」いただきます。

- 関連イベント 詳細は当館Webサイトにてお知らせします。



エミール=アントワヌ・ブールデル《母と子》1893年

2022県展 (第59回県展)

会場 原田の森ギャラリー 本館2階 大展示室(神戸市灘区原田通3-8-30)

会期 8月6日(土)～8月20日(土) 10:00～18:00(入場は17:30まで) 最終日は13:00閉展

休館日 8月8日(月)、15日(月)

観覧料 無料

問合せ 兵庫県立美術館 県展係 電話 078-262-0907

兵庫県下の芸術振興、発展に寄与することを目的に1962年から開催されてきた公募展です。絵画、彫刻・立体、工芸、書、写真、デザインの6部門を設けています。力作の数々をぜひご覧ください。

美術館の調べ

■ 内田咲千子&杉田恵理 ヴァイオリン& ヴィオラデュオコンサート 7月16日(土)14:00～アトリエ1にて (定員60名、無料 当日13:20から整理券配布)



ヴァイオリン 内田咲千子 ヴィオラ 杉田恵理

曲目: モーツァルト「ヴァイオリンとヴィオラのためのデュオ K.424」、マルティヌー「ヴァイオリンとヴィオラのためのデュオ第2番」ほか

■ 「れっきとした sleeper の ロマンティックあげるよ」 8月20日(土)14:00～アトリエ1にて (定員60名、無料 当日13:20から整理券配布)



れっきとした sleeper (左から) 弓倉尚典(guitar)、岡本修道(vocal/guitar)、飯田一馬(percussion)

四季シリーズコンサート<夏>

■ 湯口紗世ピアノリサイタル 8月28日(日)14:00～アトリエ1にて 大人 2000円、学生 1000円 曲目: リスト「ピアノソナタ短調S.178」ほか



ピアノ 湯口紗世

芸術の秋コンサート

■ アフター・アワーズ・セッション ソロシリーズ vol.2 ～みきかな ヴィオラ ピオラ びよら? 9月25日(日)14:00～アトリエ1にて (定員60名、無料 当日13:20から整理券配布)



ヴィオラ 三木香奈 ピアノ 右近絆子

■ 「武者たちが最も輝いた時代 — 謡と小鼓でえがか—源平 屋島の合戦」

9月17日(土)14:00～アトリエ1にて (定員60名、無料 当日13:20から整理券配布) 出演: 久田陽春子(能楽小鼓方大倉流 重要無形文化財総合認定保持者) 高橋奈王子(能楽小鼓方大倉流)ほか 演目: 「屋島」ほか



久田陽春子 高橋奈王子

県美シネマクラシック 7月15日(金)

■ 「哀愁」 第1次大戦下のロンドンで出会った英国人将校とバレエダンサーの恋物語(1940年)。 監督: マーヴィン・ルロイ 出演: ヴィヴィアン・リー、ロバート・ティラーほか 料金: 800円、「芸術の館友の会」会員500円 ミュージアムホールにて



「哀愁」の一場面

KEN-Vi名画サロン 9月19日(月・祝)

■ 「にじきたシヨパン」ミニコンサート付き上映会 ①10:30 ②13:30 阪神・淡路大震災の記憶を語り継ぐとともに、局所性ジストニアにより左手だけで演奏するピアニストをテーマにした人間ドラマ(2020年制作)。竹内祥乃監督の短編「Arcadia(アルカディア)」を同時上映。映画の後に出演者の野々村亜梨沙さんによるピアノのミニコンサートがある。コンサート入場には映画とのセット券が必要(セット券の定員は70名)。 監督: 竹本祥乃 出演: 水田汐音、中村拳司ほか 料金: 映画とコンサートセット1500円、「芸術の館友の会」会員1000円 映画のみ1000円、「芸術の館友の会」会員500円 映画はミュージアムホール、コンサートは隣のアトリエ1にて



竹本祥乃監督



水田汐音(主演) 中村拳司



野々村亜梨沙(ピアノ演奏)

各主催者によるイベント

■ IFA展2022 9月6日(火)～9月11日(日) 10:00～18:00 ギャラリー棟3階 入場料: 無料 主催: IFA国際美術協会 問い合わせ先: 080-2441-3832/info22@if-art.org

共催展

■ 「みみをすますように 酒井駒子」展 7月9日(土)～8月28日(日) 10:00～18:00 ギャラリー棟3階 入場料: [当日券] 一般1,500円/高校・大学生1,100円/小・中学生 500円 [前売券] 一般1,300円/高校・大学生 900円/小・中学生 300円 主催: 神戸新聞社、MBSテレビ 問い合わせ先: 050-5542-8600 (ハローダイヤル、9:00～20:00) 公式HP: http://www.mbs.jp/event/page/komako_sakai_kobe.shtml



「金曜日砂糖ちゃん」原画(備成社、2003年)